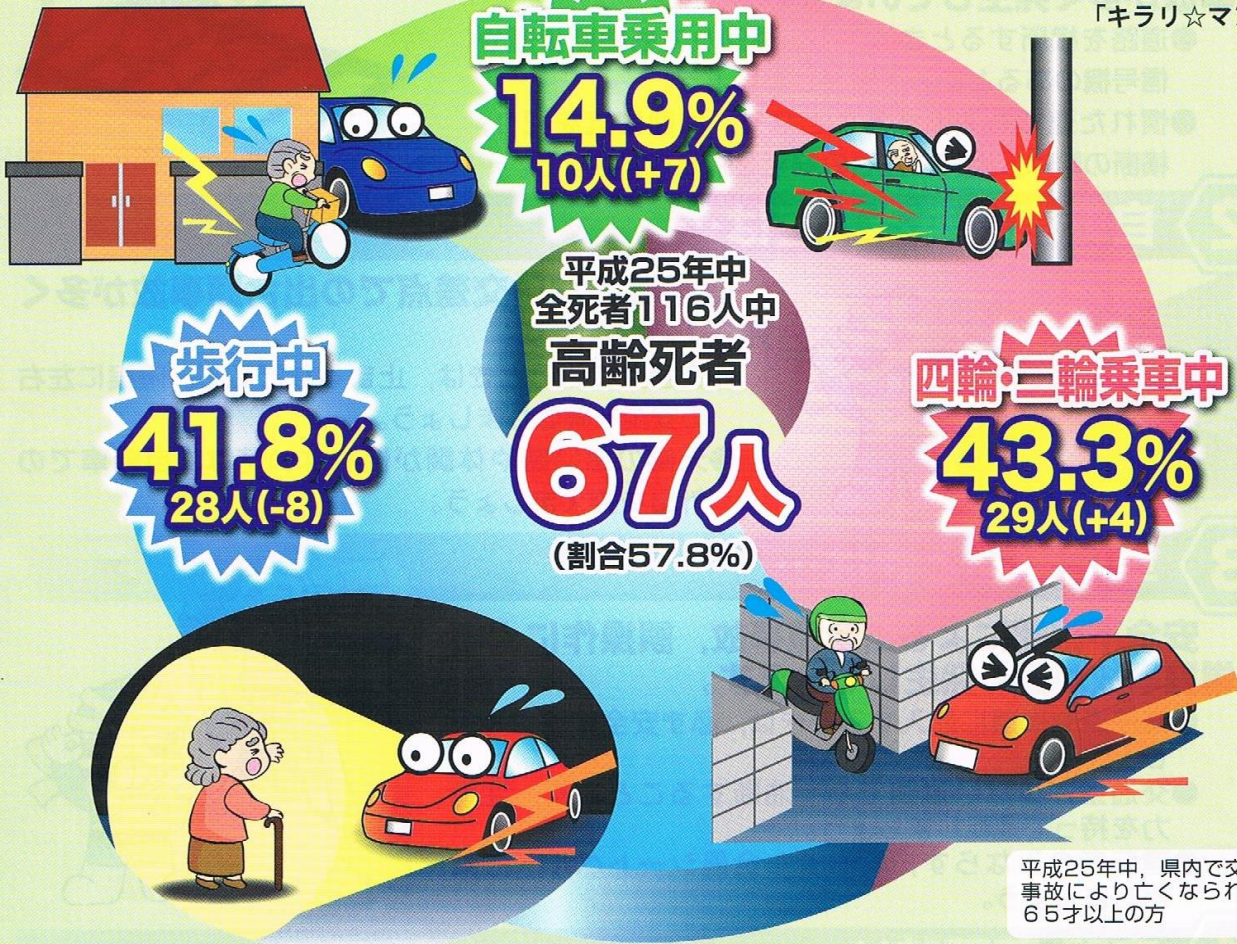


みんなで防ごう！

高齢者の交通事故



広島県警察反射材活用
促進キャラクター
「キラリ☆マン」



平成25年中、県内で交通事故により亡くなられた65才以上の方

()は前年比

交通事故で亡くなった高齢者は3年連続増加

全死者に占める割合は過去最高

平成25年中の高齢者の死亡交通事故の特徴

歩行中

- ◆75歳以上が71.4%
- ◆横断中が67.9%
- ◆夜間が64.3%(全員反射材活用なし)
- ◆自宅付近(500m以内)が71.4%

四輪乗車中

(運転17人, 同乗8人)

- ◆シートベルト非着用が40.0%
- 【運転中】**
- ◆75歳以上が64.7%
- ◆車両単独が76.5%

交通事故防止のポイント

1 歩くときは…

信号機や横断歩道がない場所での横断中の事故が多く発生しています。

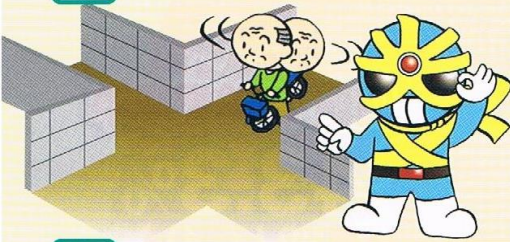
- 道路を横断するときは、少し遠回りでも横断歩道や信号機のあるところを横断しましょう。
- 慣れた道でも油断することなく、周囲に気を配り、横断の際は、確実に左右の安全を確認しましょう。



2 自転車に乗るときは…

信号機のない交差点での出合頭事故が多く発生しています。

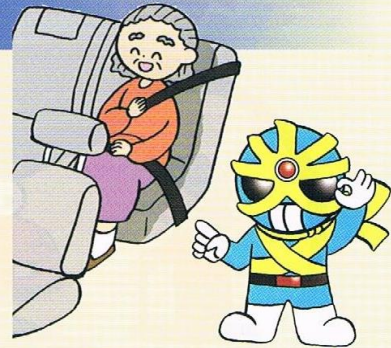
- 交差点に入るときは、止まるなどして、確実に左右の安全を確認しましょう。
- 天候の悪い時や体調が優れない時は、自転車での外出を控えましょう。



3 車に乗るときは…

安全不確認による出合頭事故、誤操作による単独事故が多く発生しています。

- 交差点や車道に進入するときは、必ず安全確認をしましょう。
- 交通量が少ない道路でも、油断することなく、注意力を持って運転しましょう。
- 運転者のみならず、同乗者も全員シートベルトを着用しましょう。



4 夜間・薄暮時は…

みんなで着けよう!
反射材

夜間・薄暮時は、車のドライバーから歩行者が見えにくくなり、危険度が増します。

- 反射材・ライトを活用し、自分の存在を知らせましょう。
- 車を運転するときは、早めのライト点灯、対向車がない場合などは上向きライトにしましょう。

私は地域交通安全活動推進委員の()です。
お問い合わせ先は 警察署 TEL

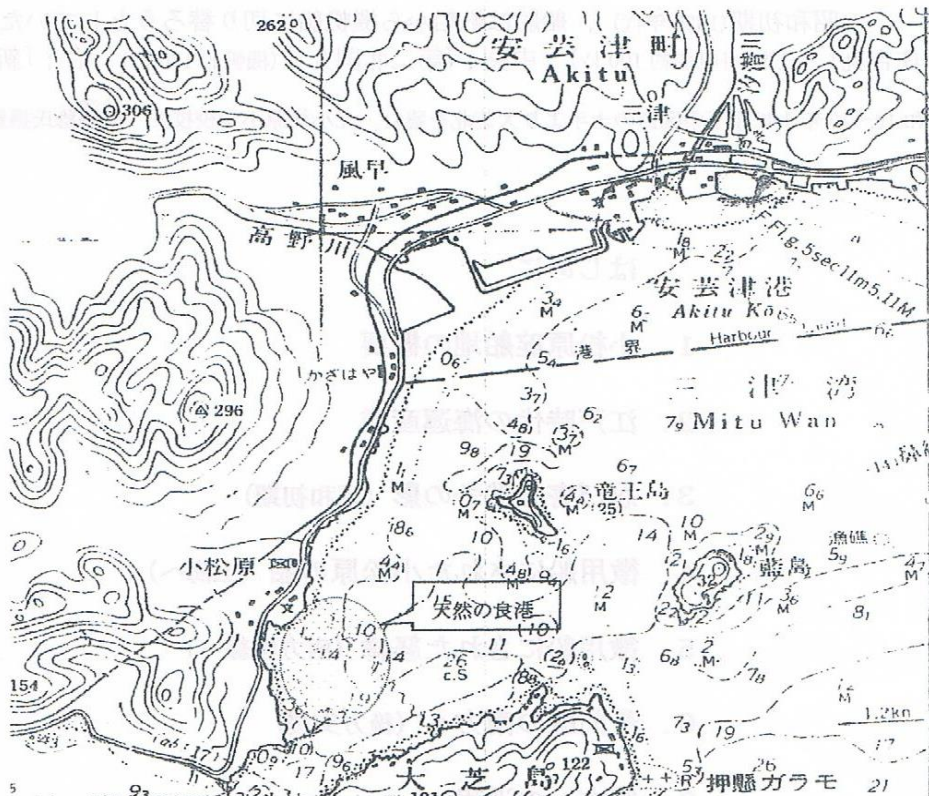
広島県警察 地域交通安全活動推進委員協議会

知りたい事、知っておきたい事 小松原

小松原の港と海運業

1. 小松原碇泊地の概要

小松原西端にある下条区海岸線沖1km弱四方の海域が、江戸時代から昭和40年代頃まで小松原の海運業を支えた天然の良港であった。※200有余年にわたった小松原の海運業隆盛の時代、大正期の運賃の暴落、戦禍に巻き込まれた悲惨な時代を見届けて拠点も、今では牡蠣いかだと真珠の養殖で良港海域を利用しており、かつて多くの出船、入船、逗留船でにぎわった情景を留めるものは何もなく、忘れ去られようとしている。



三津湾 小松原の海 (天然の良港) を見る
「安芸灘及付近」昭和48年(1973)5月30日発行 海上保安庁水路部作成

※特性を兼ね備えた良港

- (1) 地理的位置・・・目の前の竜王島、藍之島、大芝島で「はえ」(南南東)を防ぎ、「にし」(西風)を池ヶ原で、「やまぜ」(北風)、「きたごち」(北東)を保野山で防ぎ、時化(暴風雨)に強い地形である。
- (2) 海底地質と水深・・・海底の地質が全般的に泥砂(M.S)である。水深8M~182M(約3.7キロ毎時)程度と穏やかで、錨掛が良く、引け(逸走し難い)ない。
また干満の差が大塩地には4M前後あり、潮位(満潮3.90M,干潮-0.10M)大潮の干潮時に於いては海岸線の潮干潟で応急の仕事場や「たで船」(船底掃除)ができる。

(3) 利便性・・・江戸時代の地乗り、近年の沖乗りの道筋(内海航路)に近く、殆どの主要航路である九州～阪神間のほぼ中間点である。

2. 江戸時代の海運産業

小松原の海運業は、古い時代から栄えていたことは確かな様であるが、その年代や実態などは、言い伝えや資料不足などで現時点では定かでない。

史実として判明できたのが、1825(文政8)年『芸備通志』に依るものである。それによれば小松原には400石(和船の積載単位)の帆船24隻の持ち船があった。

ちなみに、当時の田地は15町(約14.88ha)あり、租税153石で戸数86戸、人口394人とある。以上のように、世帯数86に対する持ち船24隻の割合は多いと思われるが、小松原の海運業は諸国と異なる運営方針を取り続けたようである。

物資輸送には、傭船契約をなるべく避け運賃積(航海日数にはあまり関与しない)輸送をした。理由として、船主のほとんどが農業、海運業を兼ねており農繁期などは、農業に励むため日取りの許される限り船を港に逗留した。

※1石・・・米は10斗、材木は10立方尺(0.028立方メートル)、鮭は40尾、鱒は60尾。

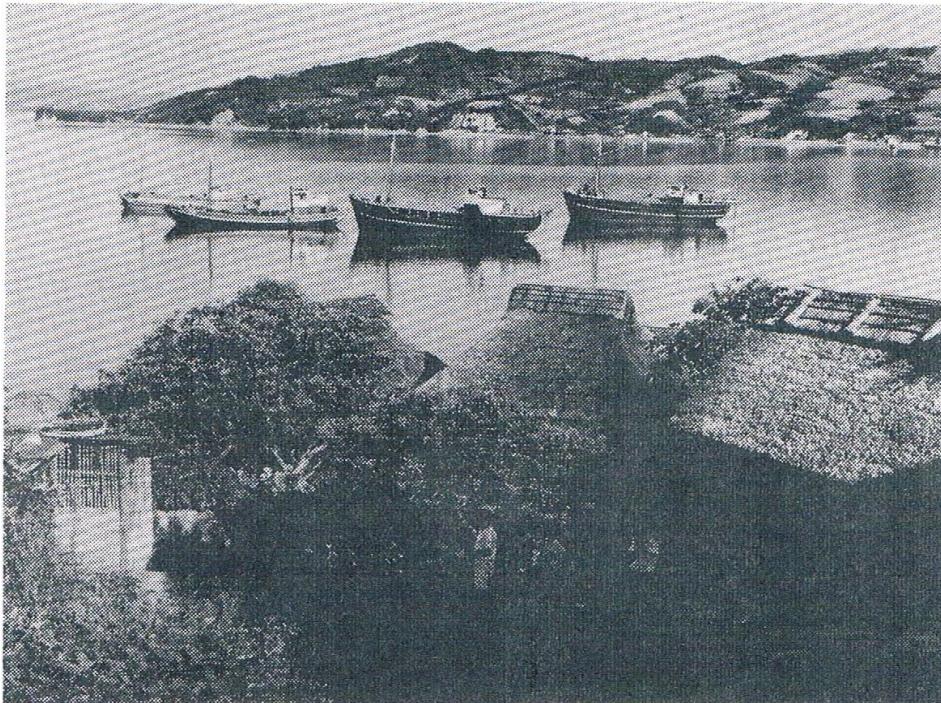
総トン数(グロス) 船の全容量をトンの単位で表す。1トン(約2.83立方メートル)



帆船時代
大正時代末期頃



帆船から
汽帆船に



汽帆船時代
昭和初期頃

小松原より大芝を望む

『編集後記』

今年の下半期は厳しすぎる異常気象のため、区民が楽しみにしていた各イベント(盆まどり大会、夏まつり、町民大会)が流れた関係で、内容の乏しい「七味」の発刊となりました。「七味」編集部メンバーも、今回は取材の回数が少なかったので小松原の現状について話し合う機会がありました。それで話題は過疎化、少子高齢化が加速したことや又、小学校跡地問題の進展がないことが現状での問題点だということ、改めて痛感いたしました。

今年も残り少なくなりましたが寒さが厳しい折、ご自愛のうえよいお年をお迎えください
(M翁)

編集部員

【原稿を募っています。下記の編集部員へご連絡下さい】

増田法生	温もりの会会長	45-1639
日浦寿久	新地2区代表・自治会幹事	090-3634-5670
松田陽子	下条1区代表	45-1375
木谷英幸	上条4区代表・自治会副会長	45-2227
木戸康裕	上条3区代表・広報部部长	45-2087



一年間ご苦
労様でした。

平成26年12月

お詫びと訂正

『七味』2014年8月12日発行の「題字七味について」(P29)の記事の中で校長名に誤りがありました。

(誤) 大迫隆史先生

(正) 穴迫隆史先生

訂正の上、お詫びいたします。また古池(P26、27)の記事のなかに掲載した写真が印刷の都合で見にくかったことをお詫びいたします。



羊

1. 十二支の第8番目。
2. 南から西へ30度の方角。
3. 昔の時刻の名。今の午後2時頃。またおおよそ午後1時から3時のあいだの時刻。
4. 陰暦6月の称。

私の出番です！